

群馬初出店「ブルーボトルコーヒー 白井屋カフェ」 2021年9月下旬オープン



前橋のアートデスティネーション「白井屋ホテル」を運営する白井屋ホテル株式会社（群馬県前橋市本町、代表取締役：矢村功）では、施設内にあらたにブルーボトルコーヒーの店舗を誘致します。明確なビジョン「めぶく。」をもとに、他ではみられないさまざまな挑戦をしながら地域活性化を推進している前橋のあり方に、コミュニティとの共存と活性に取り組んできたブルーボトルコーヒーが共鳴することで、次の出店の地に選ばれました。

ブルーボトルコーヒージャパン、群馬のスタートアップ企業 GIVE の協力のもと、地元のみなさまやホテルの宿泊者の方々にサステナブルでおいしさを徹底的に追求しているブルーボトルのコーヒーを楽しんでいただける場が、生まれます。



白井屋ホテル敷地内 馬場川通り沿いにオープン（場所は向かって左側） ©Shinya Kigure

地方初出店「ブルーボトルコーヒー 白井屋カフェ」は、コミュニティとの共存と活性に取り組んでいるブルーボトルコーヒー、前橋の地域活性化をになう心強い存在である GIVE、そして前橋のまちのリビングとして、さまざまな方が出会い、交流する居場所をご提供する白井屋ホテルのコラボレーションプロジェクトです。



「ブルーボトルコーヒー 白井屋カフェ」の空間は「正直なデザイン」を提唱し、建築、インテリア、プロダクトデザインをはじめ、トータルに空間を手掛ける芦沢啓治建築設計事務所がデザイン。

バリスタが丁寧にハンドドリップした上質なスペシャリティコーヒー、エスプレッソドリンクなどをお楽しみいただけます。

詳細は9月に改めてご案内いたします。

「ブルーボトルコーヒー 白井屋カフェ」オープンに関わる各社からのコメント

BLUE BOTTLE COFFEE JAPAN

ジェネラルマネージャー 伊藤 諒



前橋では、地元出身の起業家の田中仁氏や株式会社 GIVE をはじめとする強い思いを持った皆様が、明確な「めぶく。」というビジョンを掲げて官民と協業し、新たなうねりを創り出しています。ビジネス、アート、人材育成、と多岐に渡る取り組みを通じて、地域活性を進めていらっしゃることを知り、深く共感し感銘を受けました。弊社も創業以来、各国でカフェの店作りを通じて、それぞれのコミュニティとの共存と活性に取り組んでまいりました。米国の1店舗目である Hayes Valley はかつてはあまり人の立ち寄らない地域が、カフェを中心に変化が生まれ今では賑やかなダウンタウンになっていたり、日本では清澄白河の街の様子が6年前とは大きく様変わりし、若い年代の方々が移り住んでいます。皆様と協業する中で、土地の歴史を学びながら新しい取り組みを行っていくことで、前橋という場所の未来に少しでも貢献できればと考えております。

GIVE Inc.

CEO 佐藤拓 / COO 長谷部辰雄 / CFO 干場諒



私たち GIVE (Gunma Innovation Value Explorer) は2020年12月に立ち上げたスタートアップ企業です。代表の佐藤（医師）は群馬県高崎市で医療法人明陽会 / 高崎佐藤眼科を通じて地域医療に貢献しています。白井屋ホテルを手掛ける田中仁さんとは起業家育成の GIS (群馬イノベーションスクール) で出会い、前橋の地域活性化プロジェクトに共感し、GIVE を立ち上げました。私たちの故郷・住まいである前橋のまちなかが、シャッター商店街として活気がなかった状態から、白井屋ホテルをはじめ様々な新しい息吹が「めぶく。」状態に変化しています。今回の取り組みが官民一体となった地域活性化の一助となればとても嬉しいです。これから地域の皆様とともに素晴らしい体験ができることを楽しみにしています。

白井屋ホテル

オーナー 田中 仁



白井屋ホテルは、地域活性化プロジェクトの下、前橋ビジョン「めぶく。」を象徴するホテルとして6年半の歳月を経て2020年12月に開業しました。創業から約300年の歴史を持つ旅館の再生に建築家の藤本壮介氏をはじめとした国内外のアーティスト、デザイナーの力が結集し、アートディステーションホテルとして生まれ変わりました。暮らす人と訪れる人が集い交流する「まちのリビング」として食と文化の発信基地として活動しています。そして今回、この動きに呼应し自分たちも地域活性化のために協力したいと、株式会社 GIVE の皆さんがブルーボトルコーヒーの誘致に動いてくれました。その想いに応えていただいた、ブルーボトルコーヒー並びにブルーボトル本社の勇気ある決断に心より感謝申し上げます。これから地域の皆様の新しい居場所が出来ること、前橋のまちなかにさらに活気が生まれることを楽しみにしています。

【ブルーボトルコーヒー 白井屋カフェ】 群馬県前橋市本町 2-2-15 「白井屋ホテル」敷地内、馬場川通り沿い
問い合わせ先

ブルーボトルコーヒー 白井屋カフェ に関するお問い合わせ : japan_press@bluebottlecoffee.com (担当 : 吉田)

白井屋ホテルに関するお問い合わせ : pr@shiroiya.com (担当 : 守田)

ABOUT BLUE BOTTLE COFFEE ブルーボトルコーヒーとは

ブルーボトルコーヒーは2002年に、創業者のジェームス・フリーマンによって、アメリカ・カリフォルニアで誕生しました。創業以来、デリシャスネス、ホスピタリティ、サステナビリティを概念に掲げながら、おいしさを徹底的に追求したコーヒーを提供。自社のロースターから焙煎したのコーヒーを配送可能な地域にのみカフェをオープンすることで、おいしさのピークに合わせてエイジングしたコーヒー豆の販売を行っています。現在は、サンフランシスコ、ニューヨーク、ロサンゼルス、ワシントンD.C.、ボストン、ソウル、香港、東京、横浜、京都、神戸で100店舗以上を展開。（2021年6月現在）。

ABOUT SHIROIYA HOTEL 白井屋ホテルとは

2020年12月、群馬県前橋市に開業。前橋出身の起業家、田中仁（JINS 代表取締役社長）が地域創生を掲げ、さまざまな協力者と共に具現化した、まちのリビングをめざしたホテルです。300年以上の歴史ある旅館に新たな息吹を与えた建築家藤本壮介による建物、国内外のアーティストによる作品の数々、デザイナーとの協演、地元の食材を活かしたこだわりの食、ウェルネスの施設などが、明確なビジョンをもとに地域にひらかれています。

暮らす人と訪れる人が集い、刺激を受け、心を養い、あらたな文化がめぶく、世界にも類をみないホテルとして、さまざまな企画、活動を展開。メインダイニング「白井屋ザ・レストラン」はミシュラン二つ星「フロリレージュ」のオーナーシェフの川手寛康を監修に迎え、地元出身のシェフ片山ひろが上州キューズをご提供。緑に包まれたオールデイダイニング「白井屋ザ・ラウンジ」には藤本壮介による大胆な吹き抜けにレアンドロ・エルリッヒの「Lighting Pipes」がインсталレーションされ、朝食からディナー、バータイムにいたる、さまざまなシーンでオリジナルの食と飲み物、そしてスタインウェイの自動演奏ピアノによる音楽をお楽しみいただけます。サウナの専門家に好評の完全貸切のフィンランド式プライベートサウナも外気浴と共に満喫できます。アート、建築ツアー、文化体験、アウトドアのアクティビティに参加しながら、まるで美術館の中に宿泊し、食、ウェルネスの体験することができる、唯一無二の居場所です。

ホテル敷地内、アセットセール専門店「EMME」のオーナー・パティシエ延命寺美也が監修するフルーツタルトの専門店「白井屋ザ・パティスリー」の並び、馬場川通りに面した場所にあらたに「ブルーボトルコーヒー 白井屋カフェ」が仲間入りすることで、さらにまちにひらかれた交流の場が増え、まちの活性化の輪がひろがることを願っています。



■ 白井屋ホテルメディアお問い合わせ先

pr@shiroiya.com

070-3858-7580 (PR 担当：守田美奈子)

画像リンク：<https://we.tl/t-biyW34R4su>

PR TIMES リンク：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000038.000048883.html>

■ 白井屋ホテルお問い合わせ先

info@shiroiya.com

027-231-4618 (代表番号)